

# 北海道の農林水産業の概要

## 特徴・取組

北海道の総土地面積は8万3,422km<sup>2</sup>で、国土の約22%を占め、北海道本島と1,472の島からなっている。

また、日本列島の最北に位置し、梅雨の影響の少ない冷涼な気候の下、農地や森林などの広大な土地、周りを囲む世界有数の漁場など、資源に恵まれた地域である。

道内総生産は20兆8,893億円（令和4年度）で、産業別構成比は第1次産業が4.2%（全国0.9%）、第2次産業が16.4%（全国25.4%）、第3次産業が77.7%（全国72.7%）となっており、全国に比べ第1・3次産業の割合が高くなっている。また、農業・農村は食品加工業や観光業など幅広い産業と結びつき、地域経済の活性化や雇用の確保に貢献している。

北海道は、積雪期間が長いなど特に冬期の自然環境は厳しいものの、全国の約4分の1の耕地面積を活かし、地域ごとに異なる気候や土地条件に合わせて稲作、畑作、酪農などを中心とした多様な農業生産が展開されている。

北海道の農業産出額は1兆4,817億円で、全国の13.7%（全国第1位）を占めている。また、生乳、ばれいしょ、たまねぎ、軽種馬、小麦など多くの品目が全国第1位である。

北海道の1経営体当たり経営耕地面積は34.5ha（都府県の13.3倍）、1戸当たり乳用牛飼養頭数は164.3頭（同2.2倍）、肉用牛飼育頭数は268.3頭（同4.2倍）で規模が大きく、農業経営体（個人経営体）のうち主業経営体の割合は74.4%（都府県19.3%）と、大規模で専門的な経営が展開されている。

カロリーベースの食料自給率（令和5年度概算値）は213%（全国第1位）で、我が国最大の食料供給地域として重要な役割を担っている。

北海道産の農林水産物や食品は国内外で高い評価を得ており、北海道は、我が国の食料供給地域として食料安全保障に大きく貢献している。

北海道では、「北海道食の輸出拡大戦略<第Ⅲ期>」（令和6年から5年間）を策定し、特定の品目に偏らないリスク分散に対応した取組を進めるとともに、北海道ブランドの浸透や市場の拡大、輸出に携わる事業者や担い手の裾野を広げることにより、北海道の食の輸出をさらに成長させ、道内食関連産業の持続的な発展を図ることとしている。

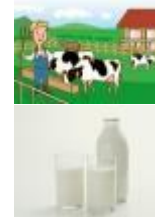
令和7年の北海道における農林水産物・食品の輸出額は、1030億円（前年比167億円、19.5%増）となっている。なかでも輸出額の約8割を占める水産物・水産加工品については、主要品目のホタテガイで、米国やベトナム、タイなどに向けた輸出が伸長し、中国から他国への多角化が進んでいる。また、カニなどの輸出額も前年から増加し、水産物・水産加工品全体では、過去最高であった令和4年に次ぐ輸出額となった。

## 主な農林水産物

### 生乳

道東・道北の酪農地帯を中心に道内各地で生産され、生産量は全国の58%を占めている。

（生産量全国1位）



### ばれいしょ

道内各地で生産され、全国に供給する主力野菜である。収穫量は全国の81%を占めている。

（収穫量全国1位）



### 米

道央・道南地域を中心に生産され、収穫量は全国の7%を占めている。

主な品種は「ななつぼし」となっている。

（水稲収穫量全国2位）



### 小麦

道内各地で生産され、収穫量は全国の65%を占めている。主な品種は「きたほなみ」、「ゆめちから」、「春よ恋」となっている。

（収穫量全国1位）



### たまねぎ

道内各地で生産され、ばれいしょと並ぶ主力野菜である。収穫量は全国の67%を占めている。

（収穫量全国1位）



### てんさい

北海道でのみ栽培されている作物で、糖類の原材料となる。主に道東の畑作地帯で生産されている。

（収穫量全国1位）



### 小豆

道東の畑作地帯を中心に道内各地で生産され、収穫量は全国の97%を占めている。

（収穫量全国1位）



### ながいも

主に道東の畑作地帯を中心に生産され、収穫量は全国の54%を占め、農産物輸出の代表品目である。

（収穫量全国1位）



### ほたてがい

海面漁業漁獲量は全国のほぼ全量を占め、水産物輸出の代表品目である。

（漁獲量全国1位）



### すけとうだら

近海の豊富な海洋資源に恵まれ、海面漁業漁獲量は全国の96%を占めている。（漁獲量全国1位）



# 北海道内の各地域における農林水産物

## 石狩、留萌、上川、空知、胆振、日高地域

【農畜産物】水稲、大豆、そば、なたね、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ、かぼちゃ、トマト、メロン、すいか、花き、軽種馬、肉用牛  
 【特用林産物】生しいたけ

## 後志、渡島、檜山地域

【農産物】水稲、ばれいしよ、にら、だいこん、アスパラガス、ねぎ、きゅうり、トマト、メロン、すいか、りんご、ぶどう、おうとう（さくらんぼ）、花き

## 日本海地域

【水産物】ほっけ、たら類、にしん、かれい、たこ、ぶり、するめいか

## 宗谷、根室、釧路地域（酪農）

【農畜産物】乳用牛（生乳）、牧草

## オホーツク海地域

【水産物】ほたてがい、さけ類、たら類

## 太平洋東部地域

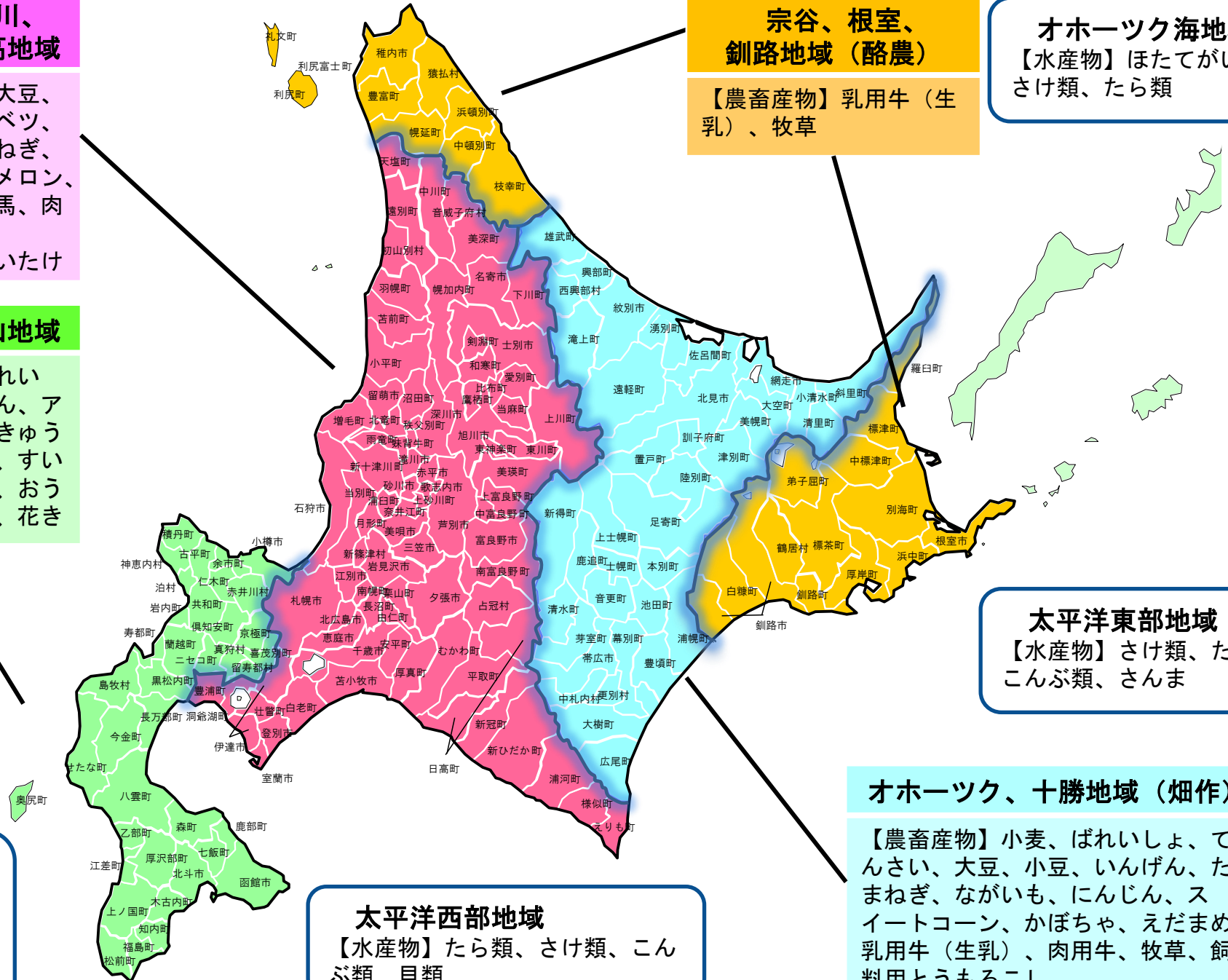
【水産物】さけ類、たら類、こんぶ類、さんま

## オホーツク、十勝地域（畑作）

【農畜産物】小麦、ばれいしよ、てんさい、大豆、小豆、いんげん、たまねぎ、ながいも、にんじん、スイートコーン、かぼちゃ、えだまめ、乳用牛（生乳）、肉用牛、牧草、飼料用とうもろこし

## 太平洋西部地域

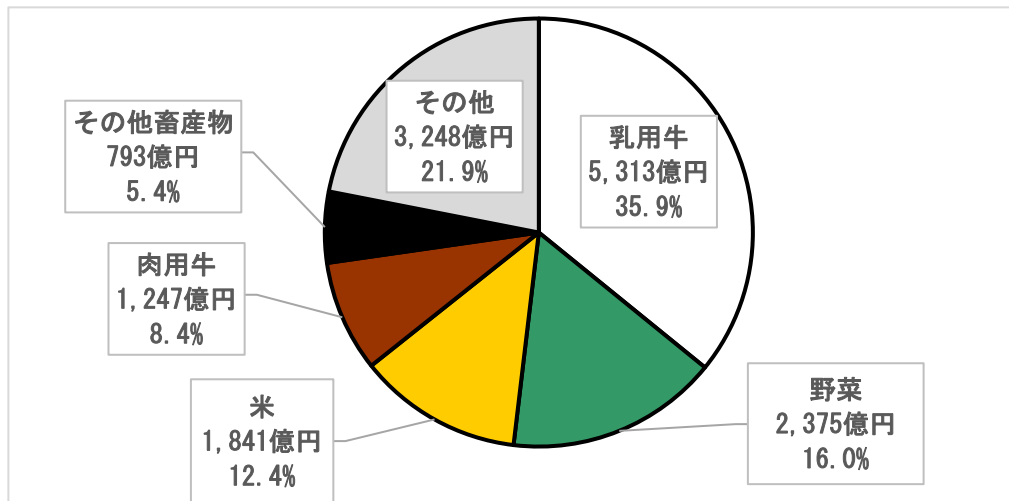
【水産物】たら類、さけ類、こんぶ類、貝類



# 北海道の農業（1）

- ・農業産出額は14,817億円で全国1位。うち米が1,841億円（12.4%）、野菜が2,375億円（16.0%）、畜産が8,399億円（56.7%）。
- ・農畜産物の生産状況は、小麦、てんさい、小豆、ばれいしょ、たまねぎ、ながいも、乳用牛、肉用牛、生乳が全国1位。

## 農業産出額の概略



## 農畜産物の生産状況

区分	年次	北海道	全国	全国順位
水稻	収穫量	R7 578,000 t	7,790,000 t	2
小麦	収穫量	R7 671,900 t	1,031,000 t	1
てんさい	収穫量	R7 3,195,000 t	3,195,000 t	1
小豆	収穫量	R7 43,900 t	45,100 t	1
ばれいしょ	収穫量	R6 1,870,000 t	2,295,000 t	1
たまねぎ	収穫量	R6 752,600 t	1,126,000 t	1
ながいも	収穫量	R6 70,700 t	131,700 t	1
乳用牛	飼養頭数	R7 816,800 頭	1,293,000 頭	1
肉用牛	飼養頭数	R7 544,700 頭	2,595,000 頭	1
生乳	生産量	R7 4,315,009 t	7,418,222 t	1

出典：「作物統計」、「特定作物統計調査」、「野菜生産出荷統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」

## 農業産出額のデータ

区分	北海道の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	14,817 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	1
米	1,841 億円 (12.4)	25,524 億円 (23.7)	2
麦類	373 億円	582 億円	1 *
雑穀	36 億円	87 億円	1
豆類	385 億円	621 億円	1
いも類	633 億円	2,565 億円	1
野菜	2,375 億円 (16.0)	25,510 億円 (23.7)	1
果実	91 億円 (0.6)	10,112 億円 (9.4)	26
花き	119 億円	3,423 億円	10
工芸農作物	506 億円	1,577 億円	1
その他作物	61 億円	583 億円	1 *
畜産	8,399 億円 (56.7)	36,654 億円 (34.0)	1
肉用牛	1,247 億円	7,861 億円	1
乳用牛	5,313 億円	10,035 億円	1
生乳	4,790 億円	8,937 億円	1
豚	647 億円	7,567 億円	2
鶏	398 億円	10,170 億円	8
鶏卵	236 億円	5,764 億円	11
ブロイラー	160 億円	4,259 億円	5 *
その他畜産物	793 億円	1,021 億円	1
加工農産物	- 億円	565 億円	-

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」  
注：( ) は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「\*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

# 北海道の農業（ 2 ）

- ・耕地面積は113万8,000haで全国1位。うち田が22万700ha、畑が91万7,300ha。
- ・農業経営体数は2万9,199経営体で全国6位。うち法人経営体数が4,250経営体で1位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は2万6,296経営体で全国1位。うち法人数が4,023法人で1位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が1,151億円で全国1位、事業体数は990事業体で5位。

## 耕地面積

区分	北海道	全国	全国順位
耕地面積	1,138,000 ha	4,272,000 ha	1
田	220,700 ha	2,319,000 ha	1
畑	917,300 ha	1,952,000 ha	1
普通畑	417,800 ha	1,118,000 ha	1
樹園地	3,030 ha	248,600 ha	26
牧草地	496,400 ha	585,900 ha	1
参考) 総土地面積	83,422.27 km <sup>2</sup>	377,979.74 km <sup>2</sup>	1

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区分	北海道	全国	全国順位
荒廃農地面積	1,034 ha	256,667 ha	42

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	北海道	全国	全国順位
農業経営体数	29,199 経営体	836,054 経営体	6
法人経営体数	4,250 経営体	33,819 経営体	1
総農家数	30,139 戸	1,394,135 戸	21
販売農家数	26,739 戸	792,808 戸	6
参考) 世帯総数	2,476,846 世帯	55,830,154 世帯	7
集落営農数	192 集落営農	13,952 集落営農	28

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

## 担い手への農地の集積状況

区分	北海道	全国	全国順位
担い手への集積面積	1,052,446 ha	2,627,068 ha	1
集積率	92.5 %	61.5 %	1

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	北海道	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	57,655 人	1,036,228 人	1
男	33,569 人	659,332 人	1
女	24,086 人	376,896 人	1
65歳以上	24,191 人	721,311 人	8
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	42.0 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	26,296 経営体	212,136 経営体	1
法人数	4,023 法人	29,684 法人	1
参考) 人口総数	5,224,614 人	126,146,099 人	8

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

## 農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	北海道	全国	全国順位	
農産加工	総額	115,057 百万円	1,006,107 百万円	1
	事業体数	990 事業体	26,910 事業体	5
農産物直売所	総額	29,494 百万円	1,134,381 百万円	13
	事業体数	1,160 事業体	20,960 事業体	2
観光農園	総額	2,448 百万円	39,113 百万円	3 *
	農業経営体数	180 経営体	4,350 経営体	7
農家民宿	総額	314 百万円	4,933 百万円	4 *
	農業経営体数	60 経営体	770 経営体	2
農家レストラン	総額	2,797 百万円	39,900 百万円	1 *
	事業体数	120 事業体	1,390 事業体	1

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 北 海 道 の 林 業

- ・ 林業産出額は407.6億円で全国3位。うち木材生産が319.0億円、栽培きのご類生産が81.0億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国1位、からまつ、えぞまつ・とどまつ、広葉樹、ふき（天然）が全国1位、黒炭、薪が2位。

## 林業産出額

区 分	北 海 道	全 国	全国順位
林業産出額	407.6 億円	4,769.8 億円	3
木材生産	319.0 億円	2,369.4 億円	1
栽培きのご類生産	81.0 億円	2,322.7 億円	4

出典：「令和6年林業産出額」

## 林野面積

区 分	北 海 道	全 国	全国順位
林野面積	5,503,949 ha	24,744,214 ha	1
国有林	2,894,880 ha	7,117,059 ha	1
民有林	2,609,069 ha	17,627,155 ha	1
人工林面積	1,447,757 ha	10,059,386 ha	1

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林業経営体数

区 分	北 海 道	全 国	全国順位
林業経営体数	3,042 経営体	23,300 経営体	1
法人経営体数	585 経営体	3,813 経営体	1

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林産物の生産状況

区 分	北 海 道	全 国	全国順位
素材生産量	2,850 千m <sup>3</sup>	19,763 千m <sup>3</sup>	1
針葉樹	2,407 千m <sup>3</sup>	18,398 千m <sup>3</sup>	1
からまつ	1,102 千m <sup>3</sup>	1,733 千m <sup>3</sup>	1
えぞまつ・とどまつ	1,239 千m <sup>3</sup>	1,239 千m <sup>3</sup>	1
広葉樹	443 千m <sup>3</sup>	1,365 千m <sup>3</sup>	1
黒炭	生産量 429 t	3,301 t	2 *
生しいたけ	生産量 3,586 t	61,959 t	6
ふき（天然）	生産量 189 t	436 t	1
薪	生産量 15,037 層積m <sup>3</sup>	99,161 層積m <sup>3</sup>	2

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

## 製材工場数

区 分	北 海 道	全 国	全国順位
製材工場数	153 工場	3,547 工場	2
製材用素材の入荷があった工場数	153 工場	3,492 工場	2
国産材のみ	144 工場	3,013 工場	1
国産材と輸入材	9 工場	386 工場	18

出典：「令和6年木材統計」

# 北海道の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は2,793億円で全国1位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のすけとうだら、ほたてがいが全国1位、海面養殖業のほたてがい、こんぶ類が1位、内水面漁業のさけ類が1位。
- ・漁業生産関連事業は、水産加工、水産物直売所の年間販売（売上）金額が701億円、63億円 で全国1位、事業体数は190事業体、80事業体で1位。

## 漁業産出額

区分	北海道	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	2,793 億円	14,785 億円	1
海面漁業	2,454 億円	8,894 億円	1 *
海面養殖業	339 億円	5,891 億円	6 *

出典：「令和6年漁業産出額」

## 漁業経営体数

区分	北海道	全国	全国順位
海面漁業経営体数	9,845 経営体	65,662 経営体	1
内水面漁業経営体数	139 経営体	4,076 経営体	8

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区分	北海道	全国	全国順位
海面漁業就業者数	19,938 人	121,389 人	1
男	18,003 人	109,757 人	1
女	1,935 人	11,632 人	1

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁船隻数

区分	北海道	全国	全国順位
漁船隻数	17,068 隻	109,284 隻	1
動力漁船	6,279 隻	58,907 隻	1

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区分	北海道	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	897,524 t	3,589,121 t	1 *
海面漁業漁獲量	785,802 t	2,786,195 t	1
ほたてがい	316,637 t	316,717 t	1
すけとうだら	118,776 t	123,574 t	1 *
海面養殖業収穫量	111,722 t	802,927 t	1 *
ほたてがい	84,508 t	119,450 t	1
こんぶ類	20,429 t	24,554 t	1 *
内水面漁業・養殖業生産量	5,331 t	47,046 t	1 *
内水面漁業漁獲量	5,223 t	17,915 t	1
さけ類	4,644 t	4,910 t	1
内水面養殖業収穫量	108 t	29,131 t	25
にじます	86 t	5,202 t	15

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

## 漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	北海道	全国	全国順位	
水産加工	総額	70,130 百万円	193,147 百万円	1
	事業体数	190 事業体	1,160 事業体	1
水産物直売所	総額	6,293 百万円	34,259 百万円	1 *
	事業体数	80 事業体	780 事業体	1
漁家民宿	総額	265 百万円	5,440 百万円	7 *
	漁業経営体数	20 経営体	540 経営体	8
漁家レストラン	総額	1,077 百万円	13,511 百万円	3 *
	事業体数	20 事業体	380 事業体	4

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 北海道の農林水産業の話題等（1）

## 気候変動による産地の拡大

近年の気候変動により、道内の多くの地域では、てんさいの褐斑病やたまねぎ、ばれいしょの小玉化など、高温の影響による生育不良や品質低下が発生しており、気候変動に対応した栽培管理や病害虫への対策がより重要になっている。一方で、これまで北海道での栽培が少なかった、さつまいもや落花生などの作物の生産が増加傾向にある。

収穫されたさつまいもや落花生は、干し芋や茹で落花生、ピーナッツバターなどの加工品として販売されており、付加価値の高い商品づくりが進んでいる。

また、落花生関係者が集まる「北海道ラッカセイサミット」が平成28年度から開催されており、生産者や関係機関がほ場視察や技術提供および意見交換会を行うなど、産地形成に向けた取組が活発化している。



## GI登録11産品で全国トップに

令和7年11月17日に「しりうちにら北の華」、令和8年3月25日には「北海道米」が新たに地理的表示（GI）に登録され、北海道の登録産品は全国最多となる11産品に到達した。GI登録を受け、生産者を中心に、ブランド形成や販路拡大に向けた取組が活発化している。

「しりうちにら北の華」は、葉色が濃く、葉幅が広く、肉厚で柔らかい点が特徴。価格は東京中央卸売市場のにら平均単価を上回る高値で取引され、出荷量も年々増加している。また、シャキシャキした食感に加え、調理後も香りや風味がしっかり残り、甘みを感じられると高く評価されている。

「北海道米」は、甘み、柔らかさ、粘りの強弱などが多種多様で幅広い用途やニーズに対応可能。北海道米の食味に対する評価が飛躍的に上がったことで認知度も上昇し、食味だけでなく生産量や安定供給、安全・安心であること等が需要者から高く評価され、日本を代表する米としての地位を確立している。



しりうちにら北の華



北海道米

## 地域の食資源への理解促進

北海道では野生鳥獣による農林水産業被害額が令和6年度に64億6,900万円となり、全国の被害額188億円の約3分の1を占め、全国でも最大規模の被害が発生している。特にエゾシカによる被害額が全体の大半を占め、深刻な課題となっている。このため、被害防止のため捕獲を進めるだけでなく、有害鳥獣をプラスの存在に変え、捕獲個体の衛生的な処理と食肉としての利活用を推進し、地域における消費拡大や食育への活用など、多様な取組が展開されている。

知内町では、エゾシカ肉を使用した学校給食を小中学校で提供している。給食の提供に先立ち、生徒に対してエゾシカ肉の栄養価や、町内の農林業における有害鳥獣被害の現状、エゾシカ資源の有効活用の取組について説明が行われ、地域の食資源への理解促進と食育の充実に資するものとなっている。



えぞ鹿肉ドライカレー

# 北海道の農林水産業の話題等（2）

## 道内各地で普及するスマート農業

北海道では、データを活用している農業経営体は全体の71%にのぼり、都府県の39%を大きく上回っている。また、令和6年度における農業用GNSSガイダンスシステムの出荷台数は全国で4,450台、このうち北海道向けは1,800台と全国の4割を占めている。

農業用ドローンによる農薬散布やデータを活用した可変施肥、有人・無人トラクタによる協調作業等、AI・IoT・ロボット技術を組み合わせた高度な農作業の自動化・省力化が進展しつつある。大規模営農が中心の北海道において、スマート農業技術は、生産性向上と労働負担軽減に大きく寄与している。



ロボットトラクターとの協調作業

## 道内のスーパー・道の駅で広がる「みえるらべる」

持続可能な開発目標（SDGs）の達成や、カーボンニュートラルの実現に向けた取組が重要視される中、農産物の環境負荷低減の「見える化」もその一つとして北海道内で広がりを見せている。

北海道内での「みえるらべる※」の登録品目は、米、たまねぎ、じゃがいも等64品目（令和7年12月現在）で、前年から22品目増加している。これらの農産物は、産地に根差した道の駅等だけではなく、大手スーパーでも取り扱われており、道内の100店舗以上で販売されている。

身近な店舗で「みえるらべる」を目にする機会が増えることで、消費者の行動変容にもつながることが期待される。

※温室効果ガスの削減への貢献度合いに応じ星の数で分かりやすく表示する「見える化」ラベルの愛称



道内の「みえるらべる」農産物・加工品販売例

## 進む米輸出の産地形成

北海道では、農林水産物の輸出について、生産者と企業・農林水産団体等とが連携し、生産者や農協単位の取組を発展させた輸出産地の形成が進められている。海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、輸出取組の手本となる産地として認定される「フラッグシップ輸出産地」は北海道内で7産地、うち米の輸出産地としては3産地が認定を受けている（令和7年12月時点）。

芦別RICE北海道米輸出拡大推進協議会は、平成28年に3軒の農家で設立された法人（株式会社芦別RICE）を母体に、令和7年3月に石狩・空知・上川の生産者や企業など42会員で結成された。参加農家25名、輸出用農地238haの規模で、米国、香港等へ「ななつぼし」や「ゆめびりか」を年間約1,300トン（令和6年実績）輸出している。

株式会社芦別RICEは、輸出を通じて地域の活性化に貢献していることが高く評価され、令和7年度農林水産祭多角化経営部門において天皇杯を受賞した。



生産者別に検査、生産者名入りの袋で海外に届く



倉庫に搬入された輸出用米